

capacious

大阪府内の福祉施設における
文化芸術活動のアンケート調査報告書

目的

大阪府内の福祉施設等における文化芸術活動の基礎的情報の整理、および実態の網羅的調査を行う。

背景

大阪府では、2009年から2017年まで「大阪府現代アートの世界に輝く新星発掘プロジェクト」という、大阪府内の障がいのある方々が制作した作品を対象とした作品公募事業が行われてきました。毎年340～561作家（年平均457.5人）からの応募があり、現代美術の専門家の審査によって選出された50点前後の優秀作品の展覧会が開催され、障がいのある方々の唯一無二の表現を、広く社会に紹介する機会を担ってきました。2010年代の大阪府の障がいのある方々の芸術活動、特に美術分野においては、この公募事業を軸として、優れた作家の発掘や各施設での芸術活動の状況把握に役立ててきました。

公募展終了以降も、大阪府では、障がいのある方の質の高い作品を現代アートとして販売し、作者へ売上を還元することで、経済的な自立支援にもつなげることミッションとしている「capacious」プロジェクト（2018年～/大阪府福祉基金地域福祉振興助成事業としては2015年～）や、地域につながり続けられることを意識し、多様な価値観を肯定、共有する、対話を重視した企画展「about me 展」（2017年～）を実施し、施設間の情報交換・交流を促すことに寄与しています。

これらの事業を通じ、障がいのある方の文化芸術活動を長年支援してきたところがありますが、2018年6月に「障害者文化芸術活動推進に関する法律」が施行されたことや、2025大阪・関西万博の開催を控え、文化的活動の機運が一層高まる状況であること等を鑑み、障がいのある方の表現活動の実態や魅力を社会に更に広げ、活性化していくには、障がいのある方々の現状を俯瞰し、ニーズに沿った施策を実施していくための基礎的情報を整理する必要があると考え、この度、改めて府内の福祉施設等での文化芸術活動の実態を網羅的に調査することとしました。

調査の概要

実施期間

2023年7月31日～2023年10月31日(92日間)

調査方法

大阪府内の生活介護事業所、自立訓練(生活訓練)事業所、就労継続支援(B型)事業所登録のある2354施設に質問票を郵送。

質問票の返送(郵送)による回答、又はウェブフォームでのオンライン回答。

調査対象

N=2354件

回答数

回答数：n=1130件

郵送での回答数：n=632件

オンラインでの回答数：n=498件

回答率：48.0%

※本アンケート調査は、小数点第2位を四捨五入して記したため、誤差が生じる場合がありますこと、ご了承ください。

第1部：
文化芸術活動の全般に関する設問

Q1

あなたの福祉施設、
事業所等について
主な所在地を
お知らせ下さい。

所在地	送付数	回答数	%
政令指定都市			
大阪市	825	368	44.61%
堺市	217	97	44.70%
豊能地域			
能勢町	9	6	66.67%
豊能町	4	2	50.00%
池田市	15	8	53.33%
箕面市	28	12	42.86%
豊中市	68	34	50.00%
三島地域			
茨木市	61	22	36.07%
高槻市	54	36	66.67%
島本町	4	2	50.00%
吹田市	58	32	55.17%
摂津市	17	8	47.06%
北河内地域			
枚方市	98	44	44.90%
交野市	17	9	52.94%
寝屋川市	59	34	57.63%
守口市	42	25	59.52%
門真市	34	16	47.06%
四條畷市	18	9	50.00%
大東市	33	20	60.61%
中河内地域			
東大阪市	138	70	50.72%
八尾市	73	27	36.99%
柏原市	10	7	70.00%
泉北地域			
和泉市	68	37	54.41%
高石市	19	8	42.11%
泉大津市	25	11	44.00%
忠岡町	8	4	50.00%

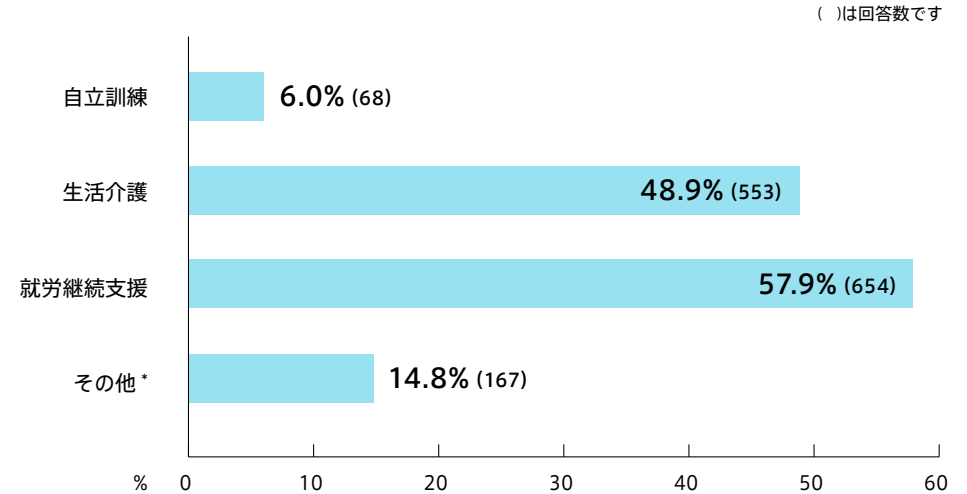
所在地	送付数	回答数	%
泉南地域			
岸和田市	70	35	50.00%
貝塚市	26	12	46.15%
熊取町	9	4	44.44%
泉佐野市	38	22	57.89%
田尻町	1	1	100.00%
泉南市	27	14	51.85%
阪南市	19	12	63.16%
岬町	4	4	100.00%
南河内地域			
松原市	19	4	21.05%
羽曳野市	21	9	42.86%
藤井寺市	16	7	43.75%
太子町	6	5	83.33%
河南町	9	8	88.89%
千早赤阪村	2	1	50.00%
富田林市	46	25	54.35%
大阪狭山市	17	6	35.29%
河内長野市	22	13	59.09%

合計	送付数	回答数	%
	2,354	1,130	48.00%

Q2

あなたの福祉施設、事業所等の種類についてお知らせ下さい。

(回答数:1130 / 複数選択可)

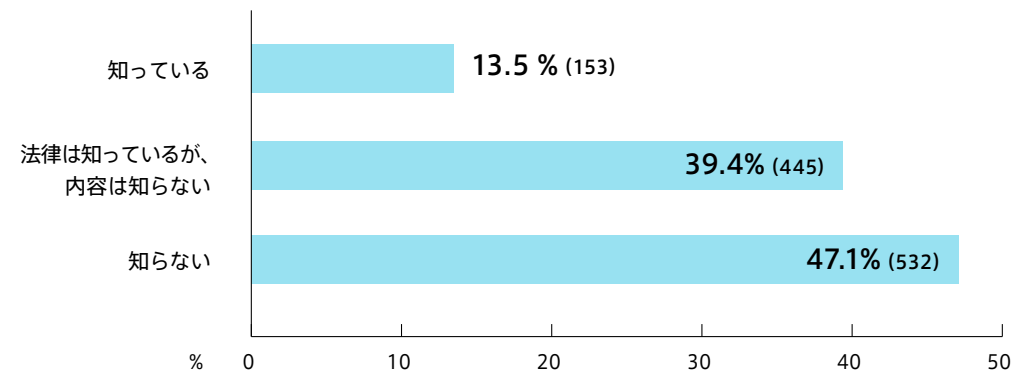


*その他 | 就労継続支援A型 / 就労移行支援 / 就労定着支援 / グループホーム(共同生活援助) / 障害者支援施設 / 地域活動支援センター / 施設入所支援 / 多機能型事業所 / 地域密着型通所介護 / 放課後等デイサービス / 児童発達支援 / 福祉型障害児入所施設 / 通所介護 / 訪問介護 等

Q3

平成30年6月に「障がい者文化芸術活動推進に関する法律」が施行されましたが、知っていますか。

(回答数:1130)



Q4

過去1年間に直接「鑑賞」する
機会を設けたものはありますか。

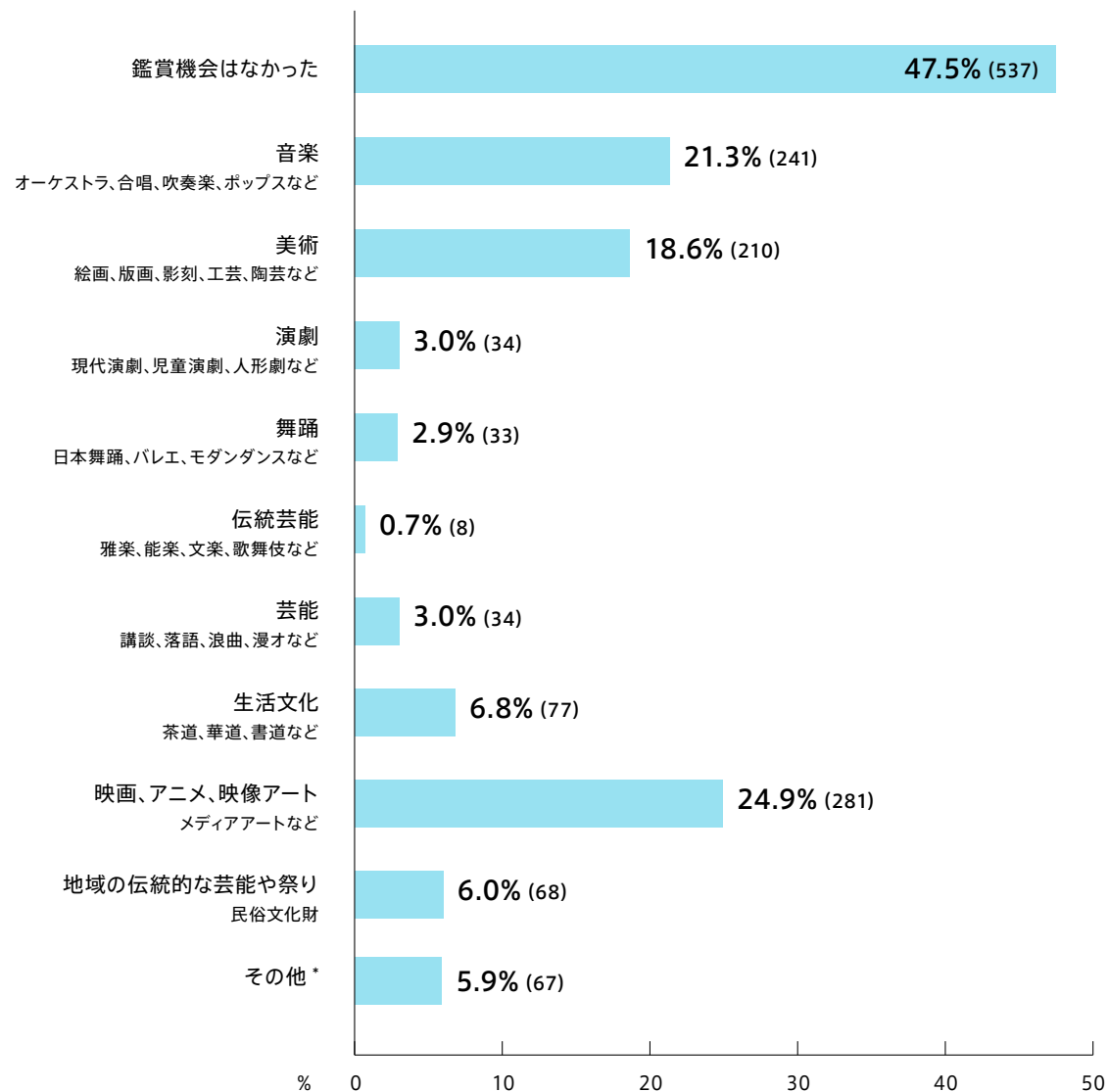
(回答数:1130 / 複数選択可)

ひとくちメモ：

鑑賞機会は、映画、アニメ、映像メディアアートが24.9%と高く、次いで、音楽21.3%や美術が18.6%と続いた。

映画、映像アート等が高いのは、YoutubeやNetflix等の映像配信サービスの鑑賞も含まれていると考えられる。

音楽の具体例として、地域の音楽隊の出前コンサートやカフェで定期コンサート等があった。また、その他としてプラネタリウムの鑑賞などの回答があった。



*その他 | カラオケ/サーカス/相撲/腹話術/プラネタリウム(大阪市立科学館)/博物館/大阪城/和歌山城/寺社仏閣の見学/施設内で音楽鑑賞/施設内で映画鑑賞/地域の芸術祭・文化のつどい等の鑑賞/他事業所の作品展の鑑賞等

Q5

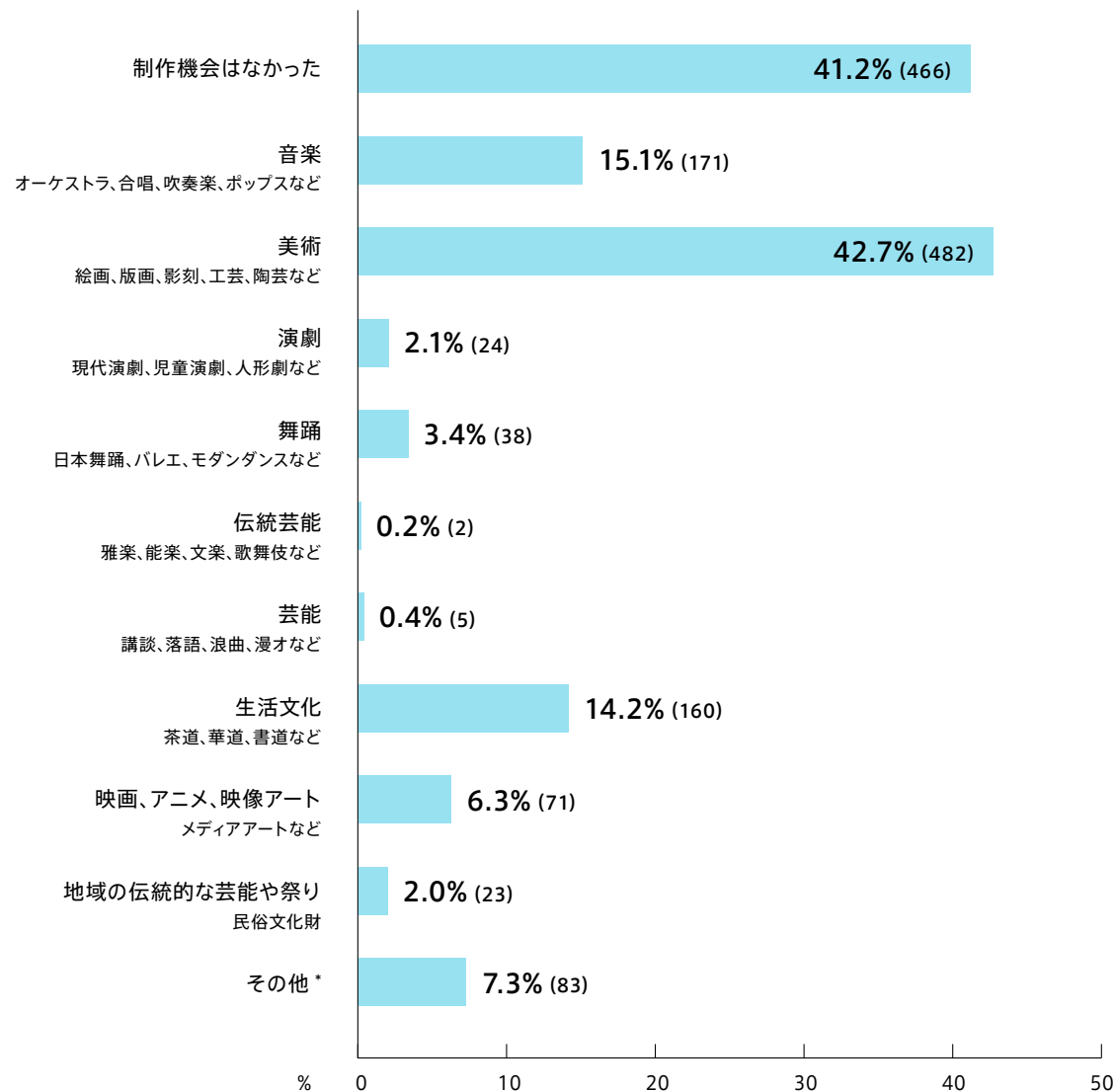
過去1年間に直接「創造や制作」する
機会を設けたものはありますか。

(回答数:1130 / 複数選択可)

ひとくちメモ:

制作機会は、美術が42.7%と圧倒的に高く、音楽が15.1%、生活文化が14.2%と続く。演劇(2.1%)や舞踊(3.4%)の制作機会は小さい。

外出等の必要性が低く、施設内で日常的に取組やすいものが多い傾向にあるように推察する。



*その他 | マンガ/アクセサリー/ビーズ等の雑貨づくり/季節の飾り物づくり/刺繍、刺し子/折り紙/寄植え教室/工作/木工/革製品づくり/ダンス/コーラス/和太鼓/詩や俳句 等

Q6

過去1年間に「発表」する
機会を設けたものはありますか。

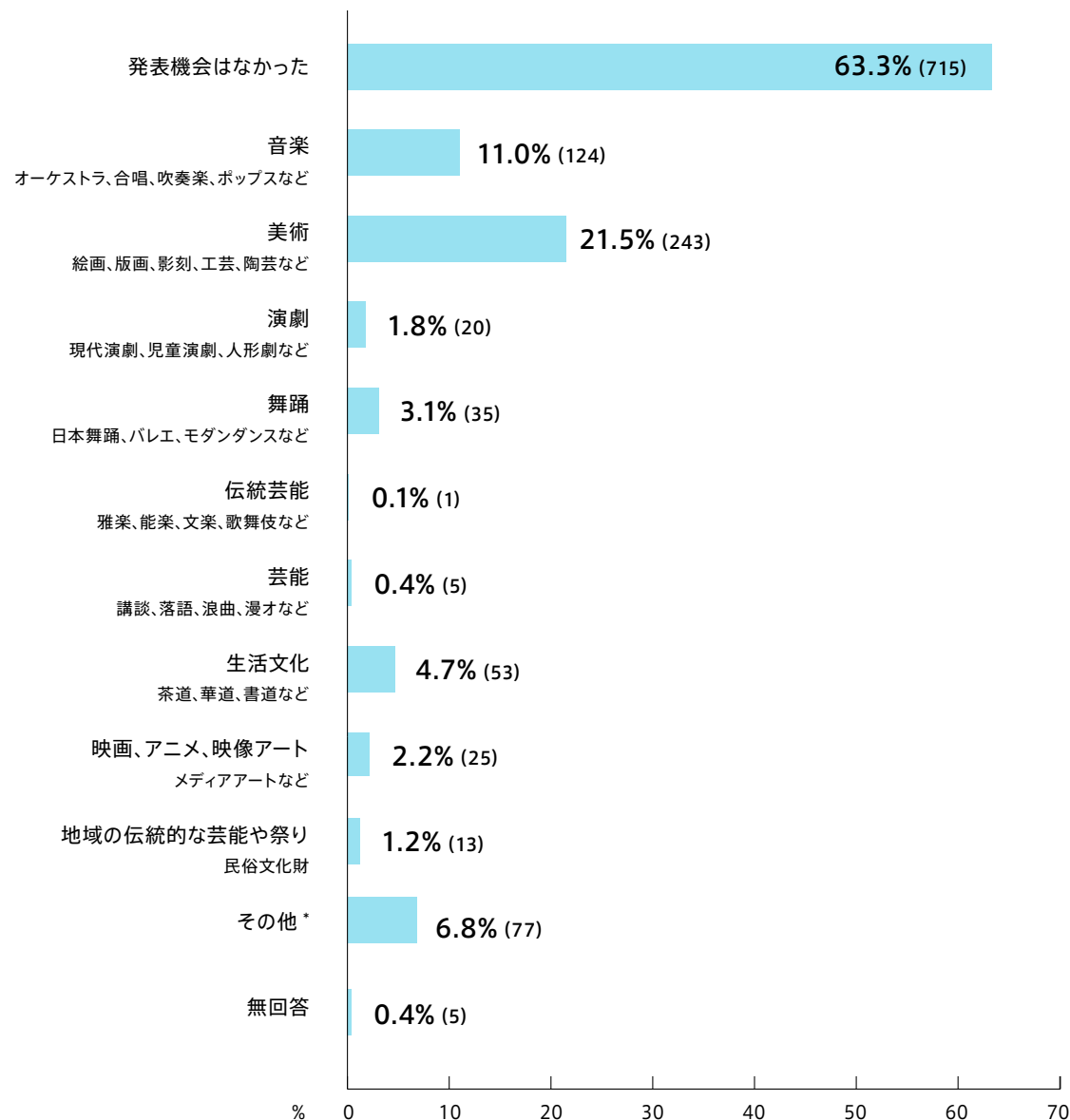
発表とは、施設内・外での発表会や展覧会、
公演会、上映等を意味します。

(回答数:1130 / 複数選択可)

ひとくちメモ：

発表機会を設けていたのは、美術が 21.5% と高く、
次いで音楽が 11.0%、その他 6.8% と続いた。

創造・制作機会と発表機会の比率は、美術の
場合 42.7% → 21.5% と半減し、音楽の場合
15.1% → 11.0% と 2/3 割減となった。一方、演劇や
舞踊は演劇(2.1% → 1.8%)や舞踊(3.4% → 3.1%)
と、ほぼ制作機会がそのまま発表機会へと繋がって
いるようだ。



*その他 | カラオケ/ダンス/手話ダンス/絵本/紙芝居の発表/和太鼓/俳句集の制作/施設
行事での歌や楽器演奏/施設内での展示・掲示/地域の芸術祭・文化のつどいでの発表 等

Q7

過去1年間に文化芸術活動を通じて
「経済的収入」を得たものがありますか。

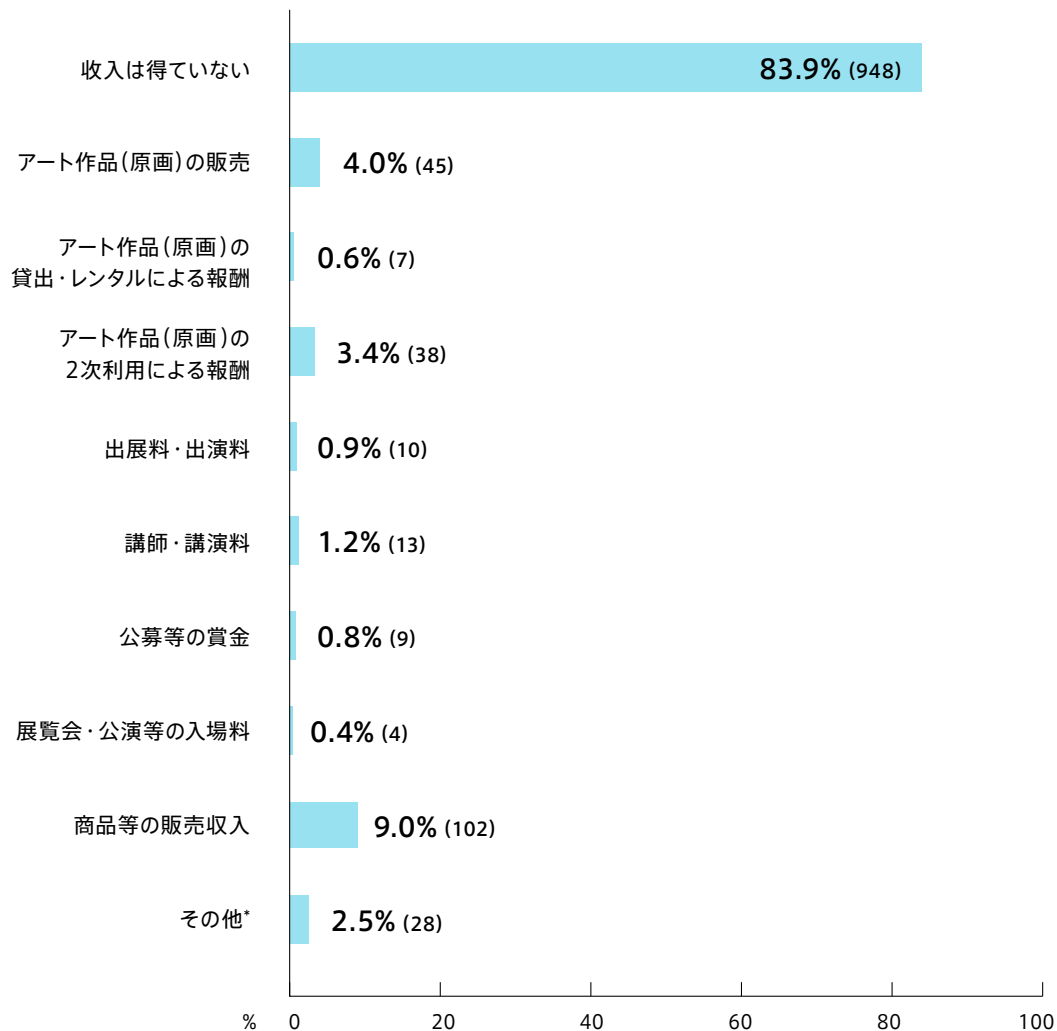
(回答数:1130 / 複数選択可)

ひとくちメモ:

文化芸術活動がそのまま収入源に繋がっているのは、16.1%と少ない。

その他の回答(2.5%)も商品等の販売収入と捉えられるものが多く、商品等の販売収入の回答(9%)と合わせると、施設内で制作したグッズ等の販売収入(11.5%)が最も高く、続いてアート作品の原画販売(4.0%)や2次利用による報酬(3.4%)が比較的多い。

尚、今回は収入の金額や販売数について聞いていないので、売上金額については不明。



*その他 | 手芸品の販売 / 木工製品の販売 / 自社開催のバザー収益 / 子供食堂の手伝い等

Q8

過去1年間に文化芸術活動を通じて
どのような「他分野・他機関との交流」機会が
ありましたか。

(回答数:1130 / 複数選択可)

他分野・他機関との交流はなかった

61.4% (694)

他の福祉施設等

21.5% (243)

地域住民

17.6% (199)

民間企業

5.8% (65)

非営利団体等

5.5% (62)

教育・研究機関(大学)等

3.5% (39)

文化芸術機関

3.0% (34)

その他*

4.7% (53)

% 0 20 30 40 50 60 80 90 100

ひとくちメモ:

38.6%が他分野・他機関交流を行っている。交流先としては、他の福祉施設等が21.5%と高く、続いて地域住民が17.6%と続いた。

民間企業 (5.8%)、非営利団体等 (5.5%)、教育・研究機関 (3.5%)、文化芸術機関 (3.0%) に留まった。

活動は活発な施設は、複数の他分野や他機関との交流をしている可能性も推察される。

*その他 | ギャラリー／カフェ／地域の祭り／ボランティア団体・個人／コーラスグループ／音楽療法士／3B体操講師／落語家／プロの画家／アーティスト／公募展や展示会の主催者や出展者／保護観察所／支援学校／障害者作業書連絡会／(一社)大阪知的障害者生活サポート協会／市・区役所・行政機関 等

Q9

過去1年間に文化芸術活動について知識を深める「勉強会・ワークショップ・相談等」を実施又は参加しましたか。

利用者と福祉職員等どちらの場合でも当てはまれば回答下さい。

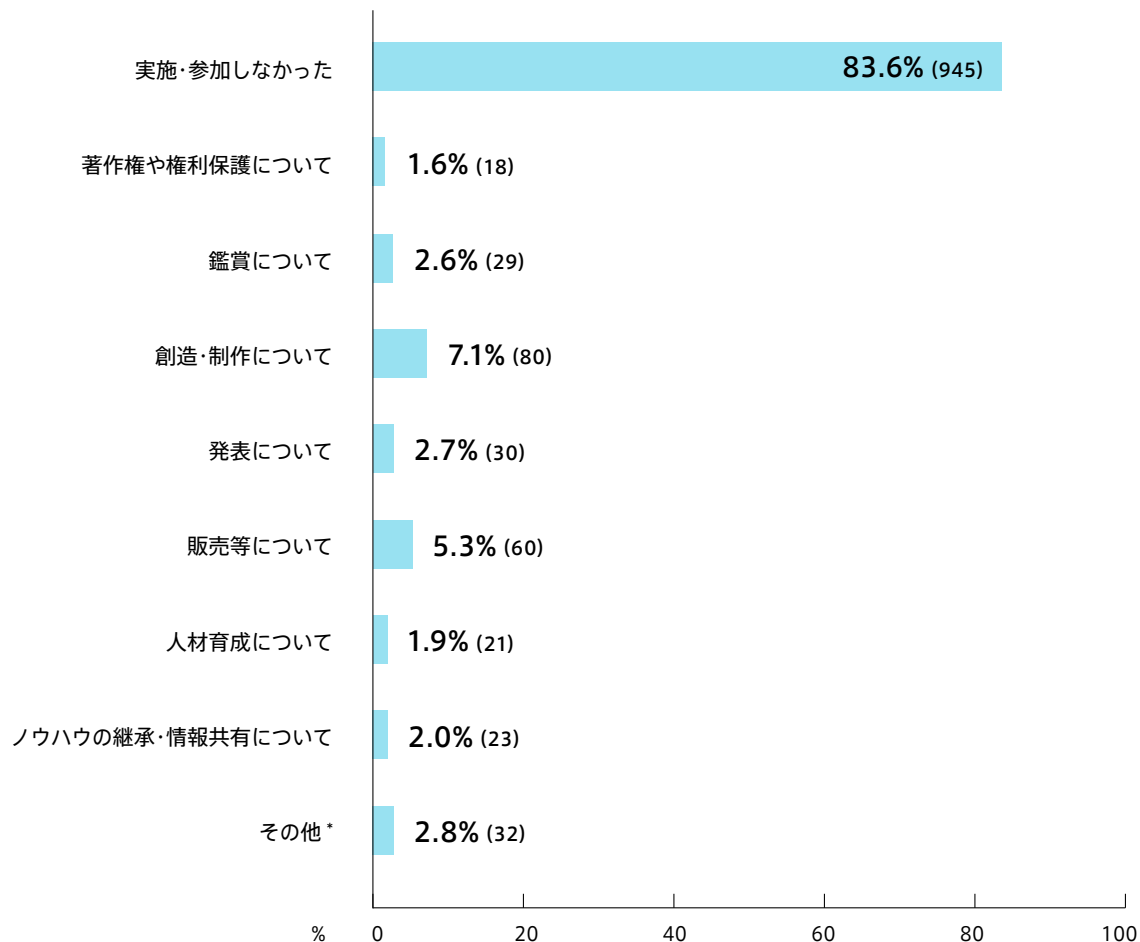
(回答数:1130/複数選択可)

ひとくちメモ:

勉強会・ワークショップ・相談等に参加した、実施した施設は約 16% と少ない。

少ない中でも、創造・制作に関するものが 7.1% と一番高く、販売等に関するものが 5.3% と続いた。

今後の文化芸術活動の充実に求められている人材育成やノウハウの継承・情報共有に関するものは、勉強会やワークショップ自体の開催機会も少ないことが要因と推察される。

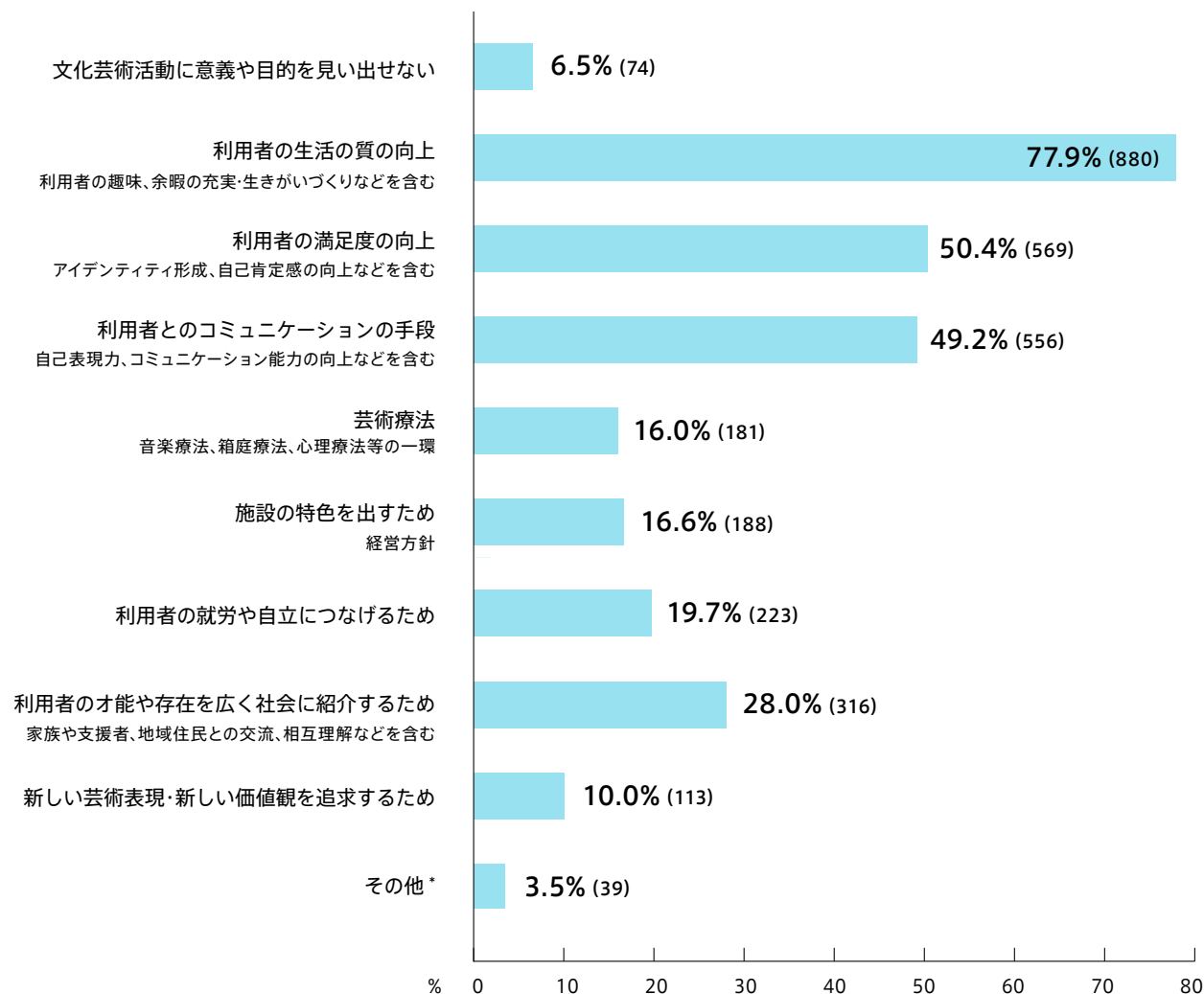


*その他 | ミュージックセラピー／染め物の体験／陶芸の体験／劇団との交流／書AWS講習／人権問題の勉強／他事業所の視察／地域の伝統の勉強会／八尾視覚障がい者福祉協会主催の文化教室／和泉市「ハートフルフェスタ2022」実行委員としての活動 等

Q10

あなたの福祉施設等における、
文化芸術活動の「意義・目的」について、
あてはまるものを教えて下さい。

(回答数:1130 / 複数選択可)



*その他 |

- ・働くに特化した活動をしているの為、利用者像や作業を行う上で必要と感じれば、取り入れるべきもの
- ・それを目的や興味がある方がいれば、取り入れていきたい
- ・文化芸術活動の意義・目的はあると思っているが、利用者個々で他の事で楽しんでいるので、文化芸術活動はしていない
- ・ニーズがない
- ・出版するB型作業所であるため
- ・日中では作業中心の事が多い
- ・日々の作業で精一杯で、文化芸術活動に触れる機会を持つ余裕なし
- ・時間の余裕があれば、実施努力をしたい
- ・設立して間がない為、まだ考えていない
- ・個人としての取り組みはあるものの、集団としての取組はまだできていない
- ・意思の疎通が取れる利用者がいないため
- ・利用者個々の表現表出を知る事で、利用者の特性や強み（長所）を知る機会となり、利用者の活動内容の幅が広がる
- ・個性の向上、発見に至る可能性がある
- ・自己表現は生きるエネルギーを生み出すと考えている
- ・いろいろなことを「経験してみる」が事業の方針であるため
- ・社会変革の可能性！
- ・地域との関わり
- ・地域文化の関心と芸術感の向上
- ・あくまでも参加自由の軽いレクリエーションとしての位置づけであること
- ・利用者の余暇、社会体験活動として今後検討

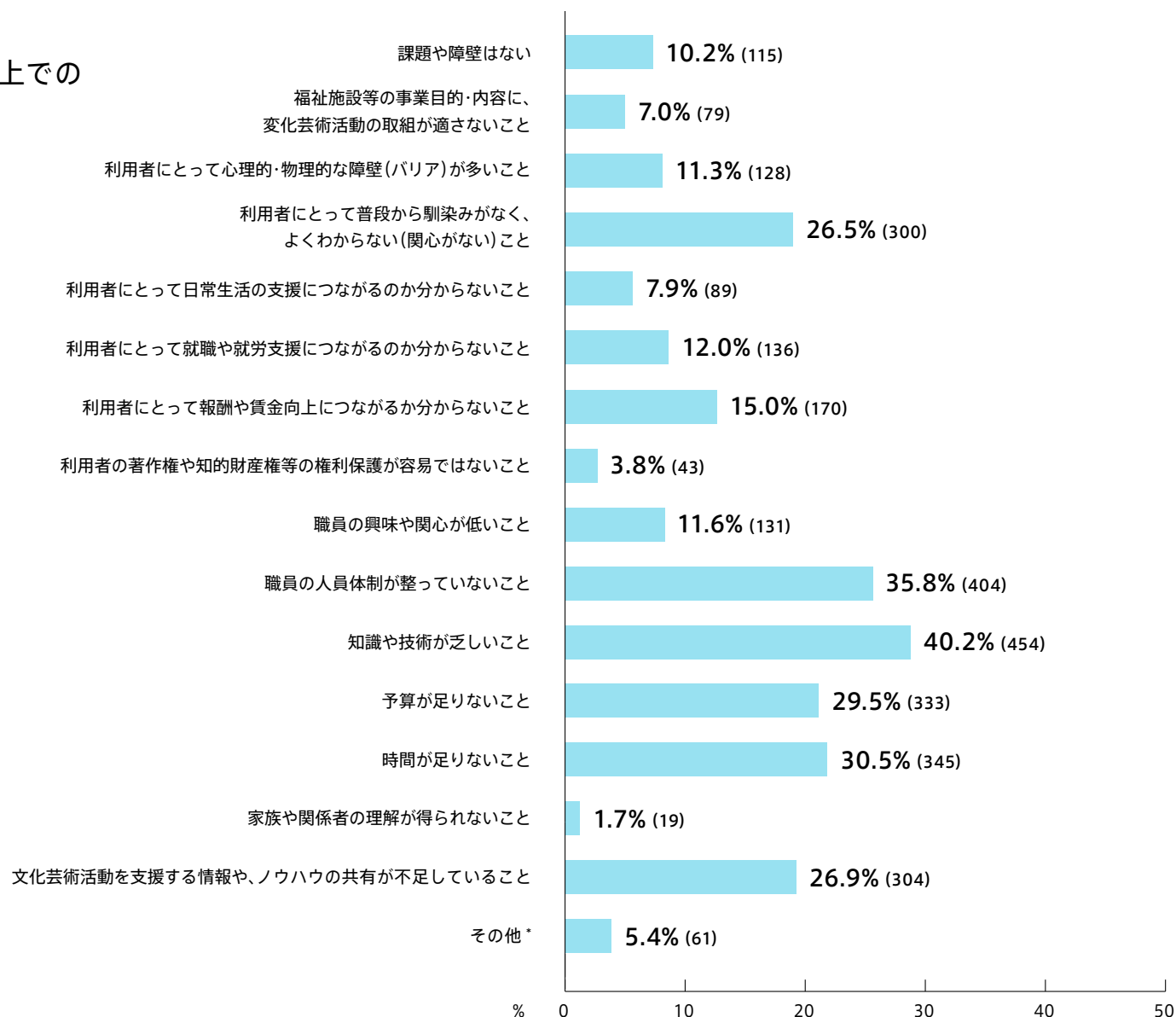
・余暇活動

- ・盲ろう者は見るだけでは（通訳者による音声、触手話での情報のみ）イメージ、理解が難しい。実際に体験したり触れることで初めてどんな文化芸術活動か知ることができるので、まず知ってもらうことが重要

Q11

あなたの福祉施設等で、
文化芸術活動を実施する上での
「課題」「障壁」について、
あてはまるものを
教えて下さい。

(回答数:1130/複数選択可)



*その他 |

- ・B型事業所の報酬評価が、月額平均工賃額によって決まるため、即収入につながる活動（軽作業等）に迫られる毎日で、とてもじゃないが、文化芸術活動をする余力は残っていないし、利用者も収入に繋がらない活動は避ける傾向が強い
- ・仕事が忙しく時間的な余裕がない
- ・課題や壁はないが、事業目的には即してない
- ・利用者が全介助、重度の障がい者の方ばかりなので、活動が難しい（他3）
- ・身体障がいの方が、一度に移動する手段が限られている
- ・ニーズがない、利用者によって関心がないこと（他2）
- ・高齢化で食事や買い物で満足
- ・利用者によっては苦痛に感じる方もいる
全員で取り組みする時は関心を持ってもらうのが大変である
- ・利用者によって、楽しめる方と楽しめない方がいること
- ・あくまで余暇活動としてこんなこともできるという提案レベルの創作活動の機会を提供するのが方針なので、特性の差異により参加を好まない利用者もあり、調整が困難
- ・商用利用のレベルに達していない
- ・もっと販路を広げる必要がある
- ・収益を得られるようになること
- ・収入を得るためのマネジメントが必要であるが人材がいない
- ・指導・教育者の不足
- ・職員の感性や取り組み、活動のアイデアが無い
- ・意欲喚起が大事だが、大変難しい

- ・検討したことがない
- ・文化芸術活動はどういった影響が出るのか、自分自身が調べないといけない
- ・一部の職員のみで成り立っている
- ・職員間の相互理解
- ・発表の場の確保
- ・文化芸術活動に集中して取り組めるような環境作り
- ・音楽会を行なったが、同フロアの会社からクレームがあった（周囲の理解）
- ・手帳持参で無料のところを探して、参加している
- ・京都で働いていた時、音楽会やミュージカルなどに利用者が無料参加できていたが、（大阪では）機会が少ないように感じる
- ・コロナ禍によって、鑑賞機会・発表機会の減少、活動休止、外部との交流控え、計画が頓挫
- ・利用者の制作した自主製品も含め、自己表現できる発表の場を更に広げ、地域社会との繋がりに努めていきたい

ひとくちメモ：

89.8%が課題や障壁を感じている。知識・技術が乏しいこと（40.2%）、職員の人員体制が整っていないこと（35.8%）、時間が足りないこと（30.5%）、予算が足りないこと（29.5%）が4大課題である。

そもそも法律等が整備されたことで、事業所の目的に合わない場合や、利用者のニーズや希望がない場合にも、無理矢理に文化芸術活動を行うことは注意が必要だ。また、これまでも利用者の障がいの特性に応じた細かなケアを行うことで人員不足である作業所に、専門家による支援や情報・ノウハウの共有なしに、個々の事業所での活動を充実するには大きな障壁があるように思われる。

Q12

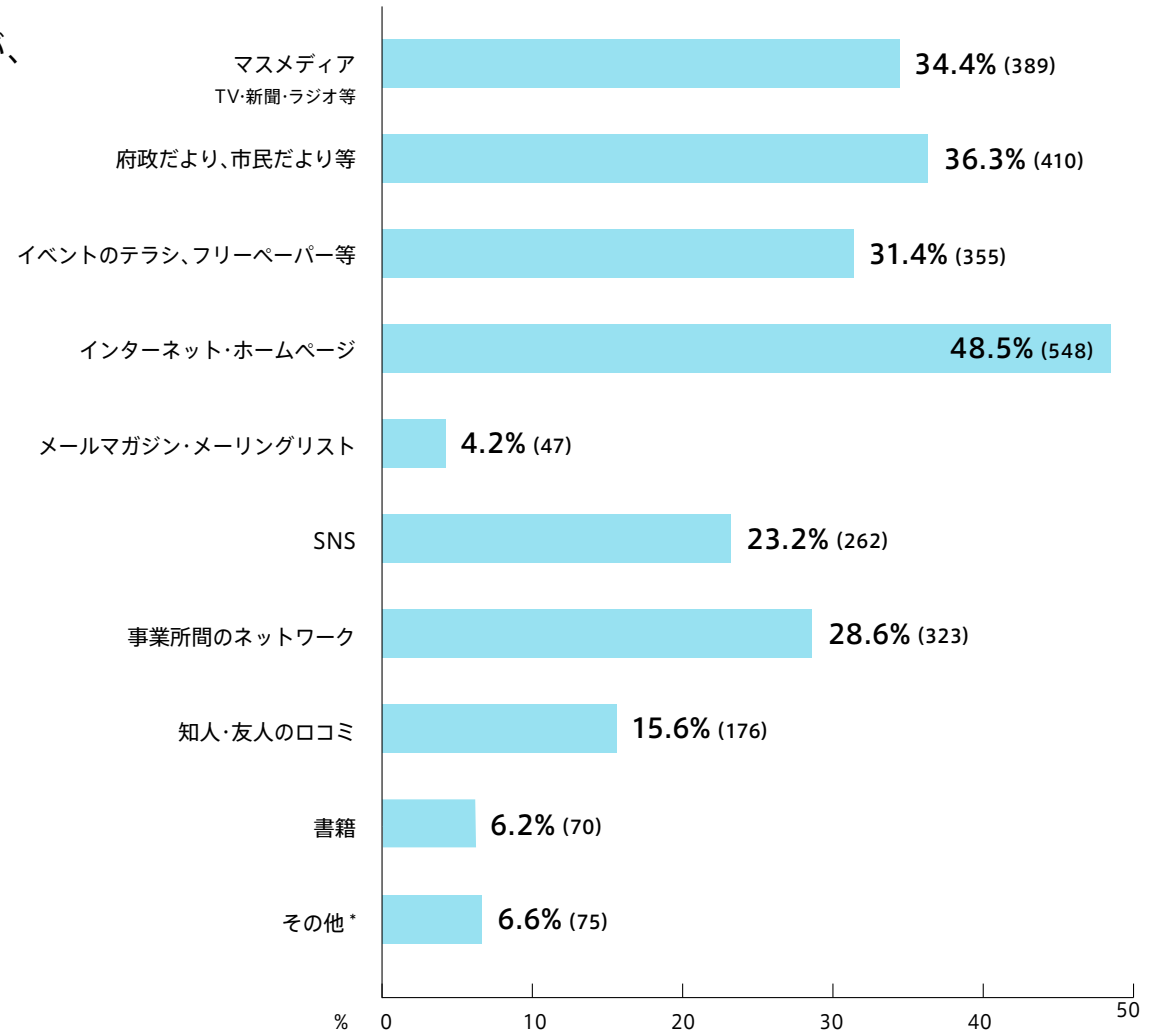
あなたの福祉施設等(又はあなた自身)が、
普段参考になっている、障がい者の
「文化芸術活動に関する情報
ツール」を教えてください。

(回答数:1130/複数選択可)

ひとくちメモ:

情報源については、インターネットやホームページが
(48.5%)と最も高い。マスメディア(34.4%)や府
政・市民だより(36.3%)も多く、イベントのチラシ・
フリーペーパー(31.4%)も続いた。事業所間のネット
ワーク(28.6%)やSNS等(23.2%)も比較的高い。

メディアの傾向を考慮すると、マスメディアや府政・
市民だよりは詳細情報を得ることは難しいため、
インターネットやチラシで詳細な情報を得ているこ
とが推察される。またSNSが発達している現代、信頼
できる事業所や個人の専門家・実践者の情報等を
参考に行っていることも伺える。



*その他 | 自治会、社協からの情報 / 自立支援協議会からの情報 / 社協や市役所からのメール / 市役所の担当課からの情報 / 商工会議所でのセミナー、交流会 / 障がい者アート支援機関からの情報 / ビッグアイからのお知らせ / 支援学校からの案内 / 学校関係からの案内 / 地下鉄の情報 / 国際交流の施設先とのやり取り / 美術品を扱っているショップ / ギャラリー / 講師からの情報提供 / 従業員からの情報 / 職員が見聞きした情報 / 職員のこれまでの経験、知識 / 地域の会議 / 地域行事 / 地域住民の宣伝 等

Q13

前項について、具体的にどのような情報をどのようなツールで得ているか、詳しく教えて下さい。

また、おすすめの情報源があれば、合わせてお知らせ下さい。

- ・TVのニュースやドキュメント、情報番組から、実際行われている取り組みやその経緯、効果を学んでいる
- ・アールブリュットや障がい者の演劇など、以前はいろいろ本を読んだり、他団体と交流したりしていた
- ・作品制作の参考情報を、ネット検索や本を参考にしている
- ・「染め物体験」などキーワードで検索し、利用者が参加しやすい内容、時間をネットで調べている
- ・Youtube動画などで、他のデイサービス等の創作活動などを参考にしている
- ・アート系の事業所がどんな活動をして、どんな利用者がどんな作品を作っているのか、日常生活とアートの関わり方、理念など、ネットやSNSで見ている
- ・ギターの先生に来てもらい、利用者がレッスンを受けている
先生のところの演奏会のチラシ、パンフレットをもらって参考にしている
- ・DMで届いた内容を見て、利用者に合いそうなイベントを掲示、募集、声かけしている
- ・体験プログラム情報を国際障害者交流センタービックアイのHPで見ている
- ・音楽の発表の機会や、芸術作品公募展の情報を、市報やネットなどから得ている
- ・公募展情報を府政だよりで見た
- ・公募展情報を「公募ガイド」というHPで調べている
- ・絵画展や公募展情報を、広報さかいや健康福祉プラザHPで見ている
- ・Facebookにてイベント、公募展、展覧会情報を得ている

- ・instagramで、地域のマルシェなどのフリーマーケットを探して定期的に参加している
- ・SNSで参加の呼びかけのあったものや、対面で紹介されたイベントに出ている
- ・著作権等に関する情報を、文化庁のHPで見ている
- ・著作権、ワークショップの情報などを、たんぼぼの家（奈良）のHP・SNSなどで情報収集している
- ・ボランティア情報を社会福祉協議会のHPで見ている
- ・大阪市内のB型事業者同士で文化芸術活動について話し合う機会を設け、実際に大阪市の伝統工芸や芸術作品の一部を手伝わせていただき、利用者に関心を持っていただけるよう完成品や作品に触れてもらっている
- ・大阪府主催の「about me展」にスタッフが数年、実行委員として参加しているので、様々なアート活動を行なっている施設と交流があり、お互いSNSなどで繋がって情報を得ている

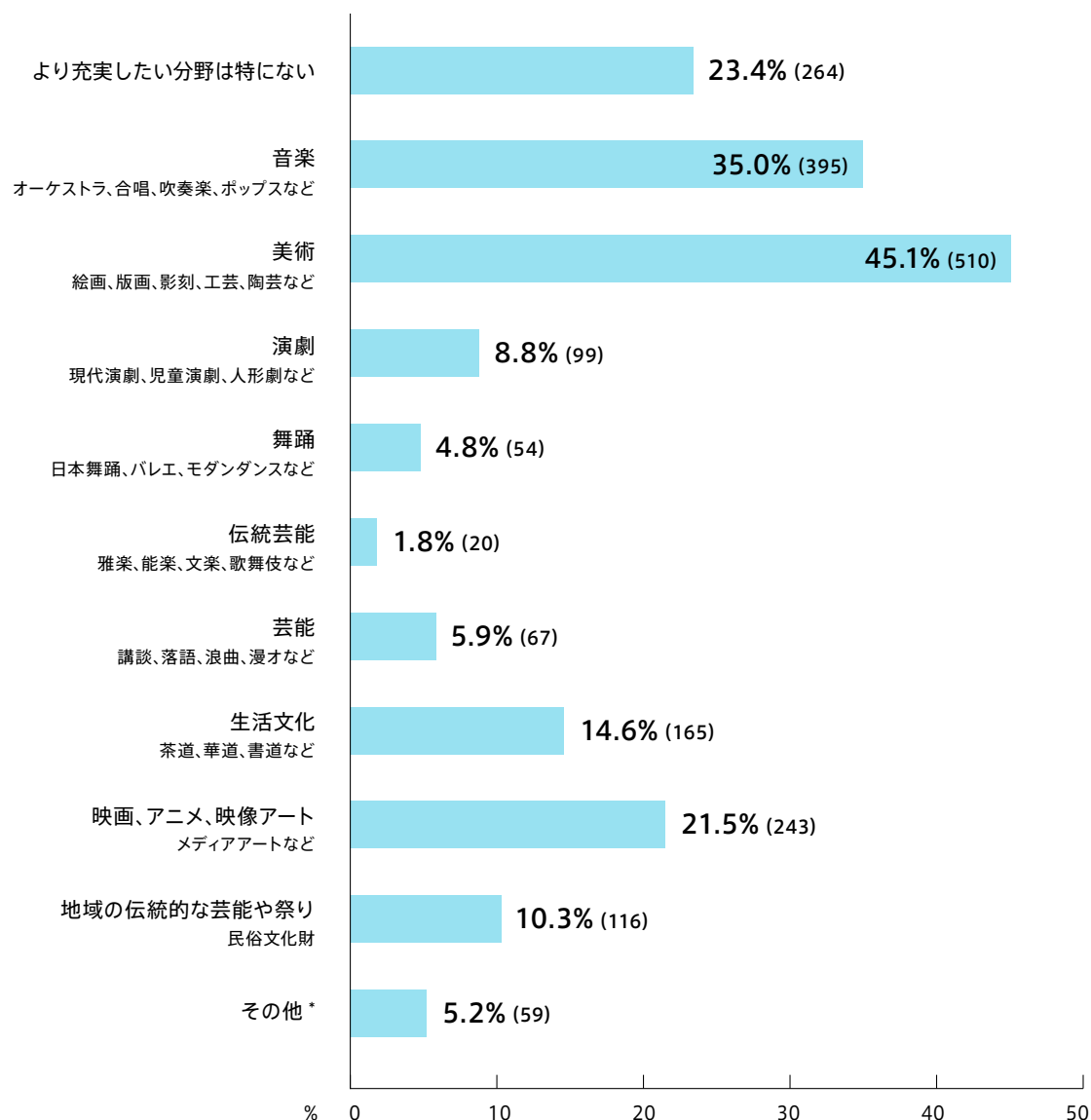
具体的な情報源 | キーワード抽出

アトリエインカーブ／アトリエsubaru／about me展／Eテレ／YELLOW／和泉市障がい者作業所連絡会／いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会／NHK／エイブルアート／エールdeさかい／大阪府ITステーション／大阪府障がい児・者施設連絡協議会／大阪知的障害児者生活サポート協会／大阪府知的障がい者福祉協会／Over The Rainbow／貝塚市障害者施設連絡会／貝塚市にっこり展／カベイシャス／かんでんコラボ・アート／きょうさんれん／Good job!センター香芝／月間DAY／国際障害者交流センタービックアイ／堺市立健康福祉プラザ／堺市書道の会／sam's e-AT Lab／産経はばたけアート公募展／CIL豊中／就ボツ／社会福祉施設連絡会障害者ドットコム／障害者作業所連絡会／障害者文化芸術情報ナビ／精神障害者社会復帰促進協会／摂津市号外NET／全国手をつなぐ育成会連合会機関紙「手をつなぐ」／大東市障害者自立ネットワーク／高槻市事業所連絡会／たんぼぼの家／デフパベツシアターひとみ／富翔会／富田林市市民公益活動支援センター／中津川浩章さん／奈良県広陵町文化芸術推進委員／ぼど（情報誌）／日本財団DIVERSITY IN THE ARTS／日本知的障害者福祉協会「AIGO」／パハリネット／バリバラ／舞台芸術オープンカレッジ／べてるの家／ヘラルボニー／ボランティアフェスタ／マガジンハウス／こここ／八尾市生涯学習センター／八尾市文化振興事業団リタリコ／WAM NET

Q14

「文化芸術活動」の取組で、
あなたの福祉施設等が、これから
「より活動を充実したい分野」を
教えて下さい。

(回答数:1130 / 複数選択可)



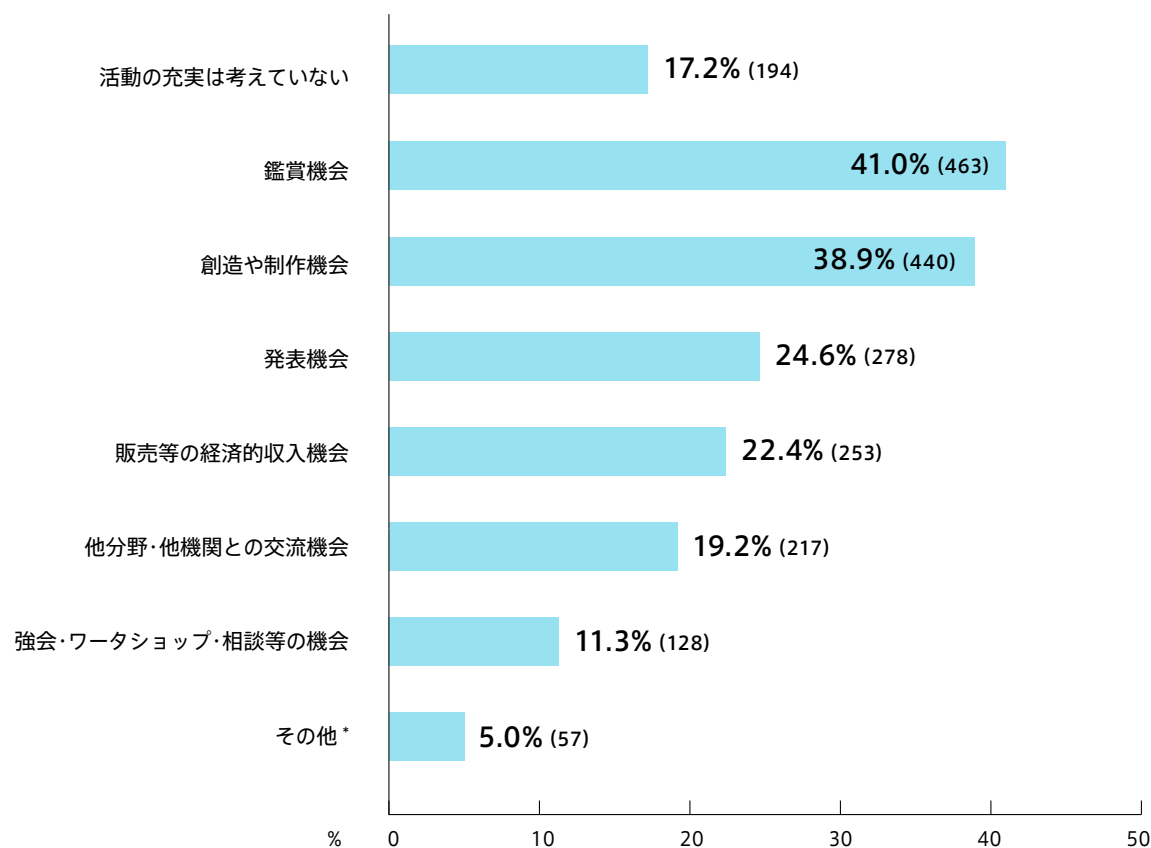
*その他 |

- ・ゲストを招いてのコンサート
- ・音楽鑑賞会等への再開
- ・ピアノ活動の記録や発表
- ・皮革制作
- ・つまみ細工を主としたワークショップ
- ・手芸、縫製品等、物づくり等
- ・動画配信
- ・龍舞やエイサー
- ・盆踊り
- ・俳句、川柳
- ・素のままフェスタへの参加
- ・余暇時間の充実
- ・利用者個々のニーズに応じた分野を充実したい (他4)
- ・分野を問わず、利用者に様々な体験をしてもらいたい (他2)
- ・利用者のニーズや特性により、ハードルの低く取り入れやすい経験から行いたい (他1)
- ・利用者がやりたいと思えることを充実させていきたいが、何が適しているかわからない
- ・障がいの状態から、全員一律の参加は難しいが取り組みたい
- ・賃金に結び付けられるものを模索中

Q15

前項の分野で、これから
「より充実したい活動内容」を教えてください。

(回答数:1130 / 複数選択可)



*その他 |

- ・各分野の基礎的な練習
- ・実演練習など
- ・作品展示など地域に見てもらう機会
- ・毎年作品展の開催
- ・毎年1回主催している音楽祭（ダンス、手話歌、リズム体操、和太鼓の披露）のクオリティの向上
- ・出版
- ・自主製品の販売機会を通して、当事業所の魅力の発信と交流を増やしたい
- ・地域の人々との交流（他2）
- ・音楽レクリエーション等で外部の方との交流
- ・色々な社会に参加する機会を増やしたい
- ・ボランティアの力を借りて活動の幅を広げたい
- ・利用者がやりたいと強く思えるようなモチベーションの維持
- ・利用者一人一人の合ったプランづくり
- ・2年ごとに利用者が入れ替わるので、その時々合った内容の選択と充実
- ・身体的、精神的健康維持の活動
- ・利用者の興味、関心がある分野の充実（他1）
- ・利用者のできる範囲での活動
- ・日時等、参加できるものでの活動

第 2 部：
文化芸術活動のうち
「美術分野の制作活動」に特化した設問

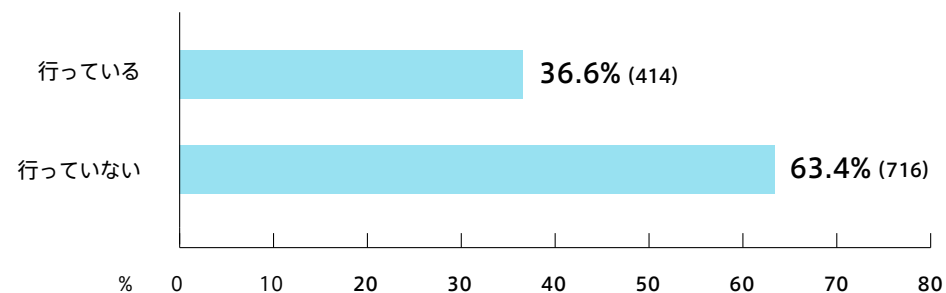
Q16

あなたの福祉施設等では、美術分野の制作活動を行っていますか。

(回答数:1130)

ひとくちメモ:

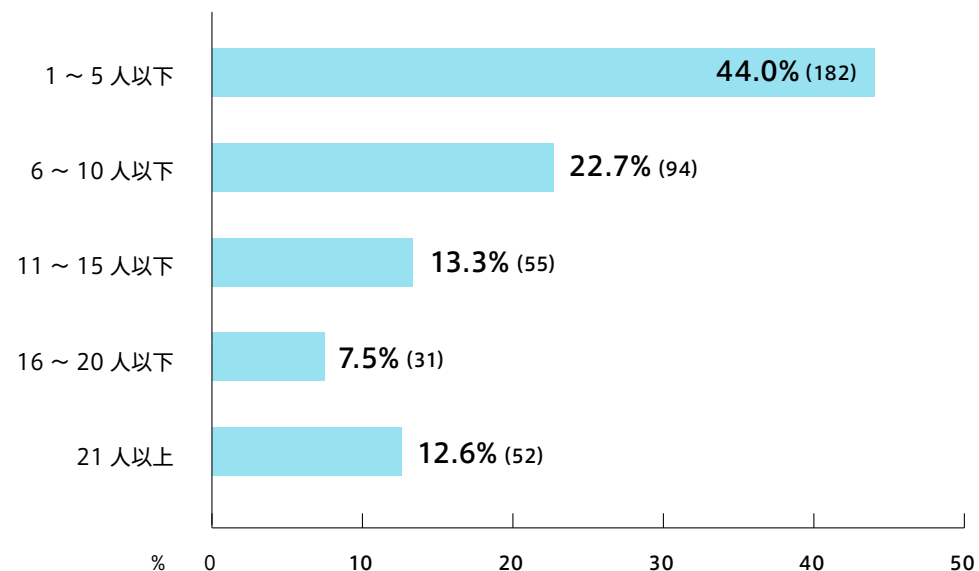
414施設で美術分野の制作活動を行っている。
回答数の1130に対しては36.6%、調査対象である
2354に対しては17.6%にあたる。



Q17

アート作品の制作をしている利用者の「人数」についてお知らせください。

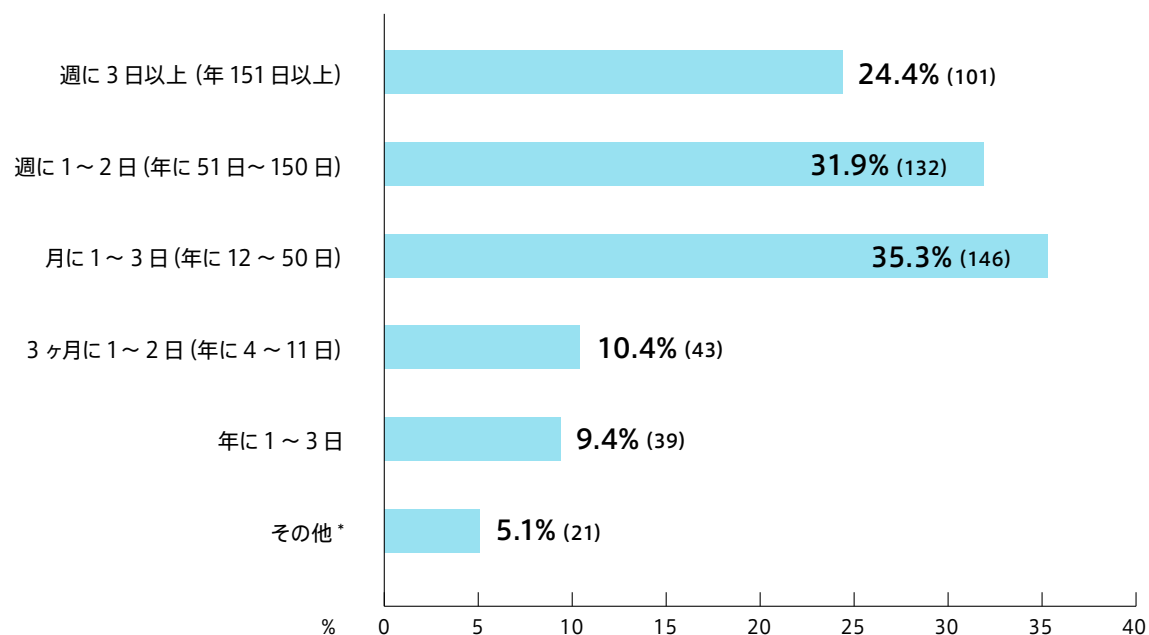
(回答数: 414)



Q18

アート作品の制作をしている利用者の
「制作頻度」についてお知らせ下さい。

(回答数: 414 / 複数選択可)

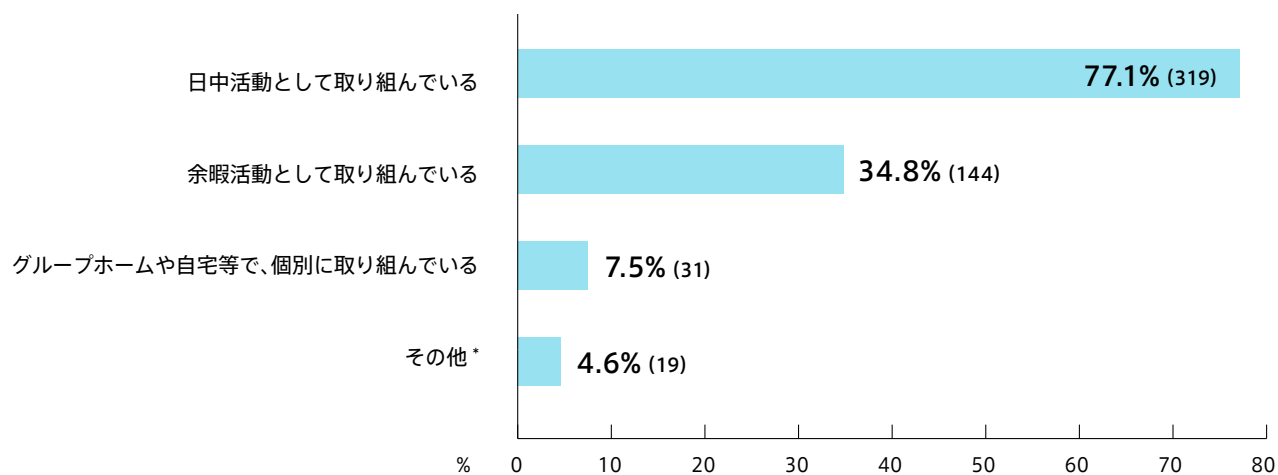


*その他 | 単発 / 制作者自身のタイミングで / 活動ができる時 / 日々少しずつ / 季節のイベント (クリスマス、ハロウィン、父の日、母の日、ひな祭り、お正月) 毎イベントのある時に都度 / 作品出展がある場合は、頻度が多くなる / 年に1回展示会に向けて / 1年に1回の作品展にを目標に2~3カ月取り組んで / 展示会に向けて1年間かけて / 展示会前の2か月間に毎日 / 利用者が個人的に、絵画教室へ月に2回程度参加している 等

Q19

アート作品を制作をしている
「状況」についてお知らせ下さい。

(回答数: 414 / 複数選択可)



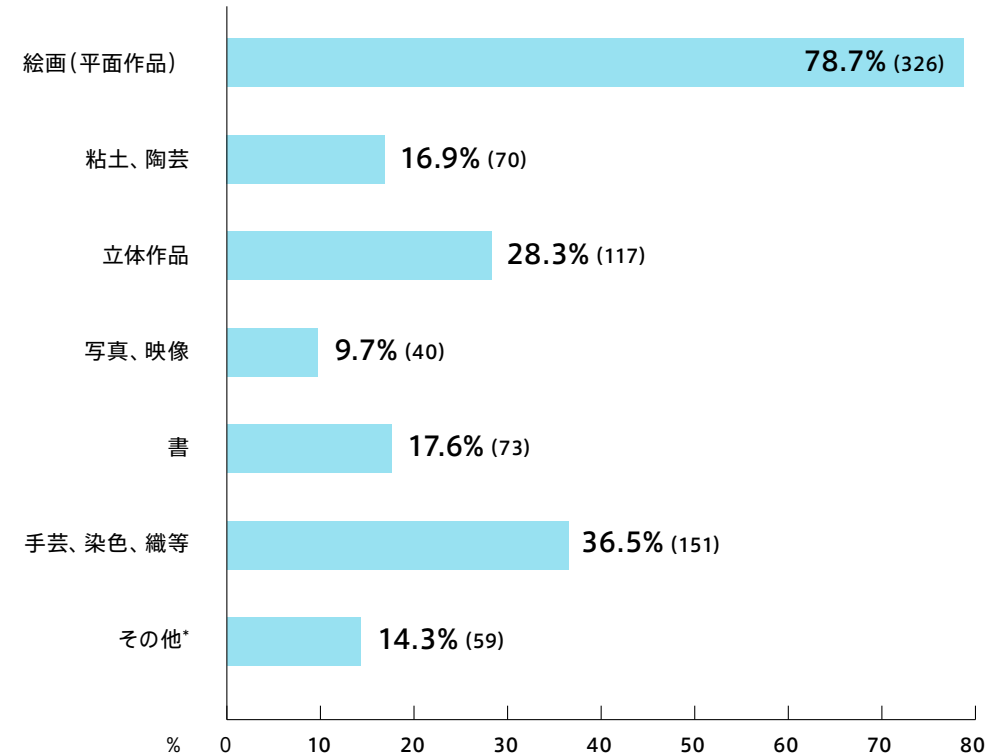
*その他 |

在宅ワークとして / 個別課題として / zoomやPCを利用した社宅訓練として / 訓練の一環として /
リハビリ活動として / デイサービス利用中 / 日中活動とグループホームどちらでも / 有料の絵画教
室を開催して / 個々にプライベートの時間で 等

Q20

取り組んでいるアート作品の
「種類・ジャンル」について教えてください。

(回答数: 414 / 複数選択可)



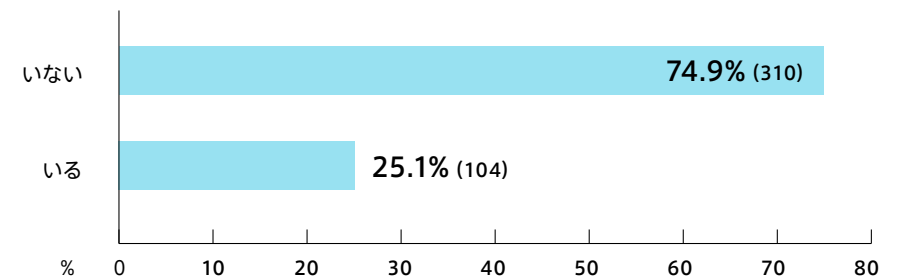
*その他 |

貼り絵／切り絵／アニメや漫画／Tシャツやスマホケースなどへのイラスト／アイロンビーズ／ダイヤ
モンドアート／デジタルアート／ドライフラワー／ネイルチップ／ビーズによる作品の制作／押し花／
華道／音楽／詩／季節の創作／自伝書／わら文字／七宝焼／服飾／木工 等

Q21

独創的な制作活動をしていると思われる、
紹介したいと思う「作家」がいますか？

(回答数: 414)



自由記述

事業所の種類、目的における 芸術活動の難しさ

B型の事業所だが、行政からの指導の際に作業に関係のない活動は通所としてカウントできないと、言われた記憶がある(以前は映画を鑑賞する時間をつくっていた)。

工賃向上のための日々の取り組みが非常に忙しい。また、就労継続支援のための個々の利用者の様々な生活支援やメンタルサポートが欠かせない。その状態の中で利用者も職員も生活の潤いや余裕をもって生活も楽しんで欲しいとは思いますが、当事業所独自では対応には限界がある。社会体験活動として年数回の食事会や日帰り旅行、ボウリング大会、カラオケ大会、ぶどう狩りなどを行っている。その一環として芸術鑑賞等の活動に利用者が興味を持たれるかはわからない。

精神障がいがある方を主な対象とした事業所。多くの方が障がい特性において芸術面に秀でているわけではないため、「障がい＝アート(創造)」というイメージを持たれるとしんどい部分がある。気分転換や視野を広げるために、障がいがあるなしに関わらず、芸術と一緒に楽しむ機会を提供できたらと思っている。

就労継続B型では、報酬評価のランク付けを平均工賃額で決定されるため、軽作業プログラムの毎日で手いっぱいであること、また、職員自身の考え方は、美術、文化、芸術はあくまでも個人の趣味であり、プライベートで個々充実させるものと考えているので、事業所がその分野に関わることにやや戸惑いがある。

工賃に反映しないので、参加者が少ない。スタッフもそのために、作業を中止して支援するが、その間作業が止まってしまう。施設での工夫が課題となっている。

作業時間に練習等を行うので仕事に支障が出る場合もある。芸術系をやるには用意も含め時間と人とお金がかかる。現在は出来ているがB型作業所が沢山出来ている現状で、メンバーの高齢化、減少等で経営が難しくなったら、芸術活動は一番に廃止になる項目。

私たちの施設は就労継続支援B型。法律改正もあり、今の就Bは利用者に仕事を提供し、工賃を向上させることに注力しないとイケない。利用者に高額な工賃を支払っている施設なら、文化芸術活動に力を入れるだけの余裕のある就Bもあるのかもしれないが、当施設はまだまだ利用者に支払う工賃が低く、日々売上を上げることに悪戦苦闘している。人間的な余裕もない中、文化芸術活動に力を入れる余裕はほとんどない現状。

去年は当施設の改装工事があったので、改装期間中にレクリエーションとして文化芸術活動を行うことが出来たが、それが無ければ年に1~2回、余暇活動に取り組むのが関の山。

就労継続支援A型とB型のため、B型の利用者様は作業がメインになってしまいがちだが、今後はレクを取り入れる事で気分転換や仕事とのメリハリをつけてもらえるようにしたい。

就労継続支援なので、時間外の利用者の対応ができない。

訓練等給付の事業所では、絵画などの才能を伸ばすなどの状況にはなりにくい。お金にならないことが多いので、運営が厳しくなることが、目に見えているような気がしている。販路や価格設定などのノウハウもなく、いい絵を描いているのか、落書きを書いているのかも判別できないので、訓練等給付でこの活動を支援の主に導入することは、素人では難しいと感じている。

現在の社会情勢、現在の利用者の好みにより、創作活動やレクリエーションは様変わりするし、B型は工賃向上も就労支援も求められている。もちろんそれらを充実し、そのうえで芸術活動にも積極的な事業所さんも知っている。が、就労支援と引きこもりからの社会復帰を主な支援目標としている事業所では、レクリエーションでさえ積極参加を求めるのが困難である。また積極的に参加される方が身体の障がいを持っている為、一緒に楽しめる創作活動を実施する困難さもあり、そのような企画を出せるスタッフの人材不足もある。弊所のような事業所では、積極的に芸術活動に取り組むというのはかなりハードルが高い。芸術活動をメインに行っている事業所さんもあり、各事業所の個性と考え、全ての事業所が芸術活動に熱心に取り組むこともないと思っている。けれどもこのようなアンケートが来ると、「やらなきゃいけないのかな?」という重いプレッシャーになるのも事実。

鑑賞環境の整備を希望

通所時間内で芸術鑑賞をできる場があればいいが、規模や主催者側の予算、会場側の理解が追いついていないように思う。主催者側、会場側を支援する取り組みが、公的機関からあれば、こういった取り組みも前に進むのでは。

利用者が参加しやすいように、例えば吹奏楽の演奏の無料出張などがあれば嬉しい。こちらから発信、依頼する形式が多い。

通所するのに精一杯な方が多く、まだ十分な検討ができていないが、もし、市から出張の活動があれば利用したい。

重度知的障がい者の方々も一流の美術や音楽鑑賞などの機会を提供したい。一方で外出することによる環境変化によって不穏になることもあるので、丁寧な支援が必要であるし、周囲の理解も必要。インクルージョンや共生社会が叫ばれる中で、正解ではないかもしれないが、重度障がい者向けの鑑賞の機会や優先時間（一般の利用客も利用可能だが、理解を求める）などもあっていいのではないと思う。

専門員の紹介を希望

就労支援活動としてアート活動をしているが、どうしても職員の力量や興味、想像の範囲を超える事ができない。

職員に知識技能がないので、外部より講師を招く必要がある。

アドバイザー、指導講師の派遣の紹介や、費用補助があると助かる。（他3）

弊社役員が 奈良県広陵町にて文化芸術推進委員を行っており、障がい者に対する文化芸術の推進について行政と話し合いとルール作りを行なっている。しかしながら、生活困窮者に対して文化芸術といった分野の浸透は中々難しいのが現状。直結した利用者の売上確保に繋がるのは一部であり、才能の掘り起こしには文化芸術を真に理解できる人材が必要。大学教授などの理想論はたくさんお聞きしましたが、明日をどう生きるか？と悩む方々にどの角度からの提案が出来るのか、福祉の知識と文化芸術の知識と両方を兼ね備えた人材が必要になり更に難しい課題である。

発表機会を希望

一部の利用者が絵画が得意で才能があるのではないかと考えている。なんとか社会に紹介する機会があればと思っていた。何かチャンスがあればお願いしたい。

アート活動をしているたくさんの方々に発表の場があれば良いと思う。

鑑賞機会を希望

鑑賞の機会、無料でイベントがあれば、参加したい。（他5）

音楽、劇等での鑑賞会の企画があれば、参加したい。（他1）

万博や大阪府の主催フェスに招待して欲しい。

美術館や吉本新喜劇などの鑑賞に行き、利用者に良い刺激となった。文化や美しいものに触れ、心動く体験を通じて、感性を育てることにつながるので、招待があると嬉しい。

芸術的な鑑賞機会が少ないので、レク活動で行ける機会が増えれば嬉しい。

枚方市に新しくできた芸術文化センターで実施があれば、近いので出かけやすい。

近くに鑑賞のホールがあるので行きたいとは思っているが、利用者さんが休日に鑑賞したり、それぞれの時間が合わず、現状行けていない。時間を合わせて行けるようにしたい。

資源の共有化を希望

絵画、制作に関しての職員の学習会などがあれば紹介してほしい。(他1)

一つの事業所の取り組みでは限界があるので、サポート機関などがあるとよい。

保護者や学校・大阪市・府で広くアート活動している施設同士が知り合える機会や、フリーペーパーやチラシが配布されるとありがたい。

音楽、絵画、陶芸等において作品とはいかなくても本人の自由な表現方法として、自由に取り組める設備環境を作ることが、小さな一事業所だけで設置することが困難であるので、事業所利用者や在宅の人も含めて日常的に気軽に利用できる場所があるとよい。

具体的な指導方法や画材、発表の種類なども研修会などもあれば良いと思う。現在ではアート活動の種類や販売などの方法も多義に渡し、これからアート活動を行いたいと考えている施設さんに良い情報が渡れば良いと思う。アート支援は日々変化しているので、紹介の方法なども毎年の変化改革が必要だと思う。

情報発信の希望

文化芸術活動の知識やノウハウが圧倒的に不足している。アンケートの報告や詳しい資料など、情報発信をお願いしたい。(他8)

身近に取り入れる活動の取組や、美術の取組に必要なアイデアを知りたい。(他1)

重心の方が中心なので紙に色を塗るなど簡単な取り組みを行なっている。重心の方でもできるアートの方法が具体的に知りたい。(他1)

美術や映画などに興味のある方も多く、また制作活動の励みになるので情報発信をお願いしたい。

他事業所の作品展示会情報など、見られる機会がほしい。

独創的でお勧めの作家がいれば、教えてほしい。

生産活動につながる如果能够あれば、教えてほしい。

時間不足

時間的制約が一番の問題。

作業に追われて、なかなか時間を取る事が難しい。(他1)

作業が忙しいため、なかなか余裕がなく、利用者に機会を提供できていない現状。(他1)

資金不足

予算が限られているため、安価で鑑賞や創作ができる機会を提供してほしい。

支援の補助を増やしてほしい。

予算が見合わない点が多く、なかなか実行できない。

人員不足

午前中は入浴がメインでスタッフ人員など難しさがあるが、チャレンジできればと思う。

職員やボランティア、費用の確保が困難なため、活動について難しい。

理解不足

福祉事業所の職員の中でも芸術文化活動や鑑賞に否定的な人の方が多く、活動が制約されるのが実情だ。

高齢の方主体の事業所であるため、障がいの理解が低く、固定した考え対応をする職員が多い。

作家の個性は表現に関心のある職員が必要だが、作業中心のなかで職員にはなかなか理解を得られません。

芸術活動のエピソード

前年度作品展に応募し入賞した。初めてのケースで利用
者も喜んでいたので、今後も継続したい。

普段は就労訓練をしているが、利用者の生活の質の向上を
目的として毎月余暇活動を行い、創作や映画鑑賞会などを
行っている。利用者も楽しみにしており、これからも続けて
いきたい。

文化芸術がもたらす力は計り知れないと思うので、何か
生かせるものがあればと、いつも探している。何か良いイ
ベントがあればどんどん参加したい。

主に国際交流で海外の施設とつながっている。YTさんの
ラジコンアート作品は、海外のエルミタージュ美術館アムス
テルダム別館に収蔵された（ラジコンアートは、海外で特
許取得済）。Sさんのペンダントアート作品は、海外の作
家とコラボレーションをした。

神奈川県デフパペットシアターひとみと交流があり、
コロナが落ち着いたら堺公演を予定している。

昨年、ドキュメンタリー映画(62分)《ふつうやない?!〜共
働事業所「かすみ荘」の25年〜》を制作した。YouTube
「ゆっくりっかすみ荘チャンネル」で予告編が見られる。
10年ほど前にもドキュメンタリー映画(81分)《洗濯と喝采》
を作り上映会をした。芝居は、2007年に事業所のメンバー
とスタッフで、障がいのある人もない人も共に演じる「かす
み荘劇団」を結成して、オリジナルの脚本で16年間で14作
品37公演を、近隣市だけでなく、川崎・札幌・大阪・名古
屋で実施した。

とても魅力的な作業所で、メンバーたちと映画を撮りたい
が、予算やクラウドファンディングなどのノウハウもない。
ドキュメンタリーと劇を混ぜたような、参考になっているの
はオタールイオセアーニの《素敵な歌と舟はいく》や、ペド
ロコスタの《ヴァンダの部屋》の様な作品が撮れるのでは
ないかと思っている。

2023 年度に入り、法人内で念願の音楽サークル、メイク
サークルを立ち上げ、利用者、職員、ボランティアなどで
10 名ほどで活動をしている。

今秋、3年ぶりに「秋のフェスティバル」(創作活動発表
会)を開催予定。

茨木市で障がい者の表現活動にスポットを当てて、共に
ツクルをテーマに他事業所や行政を巻き込んで展覧会な
どの企画運営をしている。

福祉と民間のコラボについて商工会のセミナーで社長
同士が情報交換をしている。コラボ企画として、障がい
者アートと、大阪産地ビールのラベルデザインで地ビー
ルを生産。現在、第5弾、6弾を制作中。東急ハンズや
商店街、飲食店、各店舗オンラインで販売中。

アーティストYさんは、グループホームの自室で気が向い
たときに趣味として創作したり、作曲をしたりしている。
絵や造形物の完成度が高い(素人目だが)ので、どこか
で発表をしてもらいたい。しかし、ご本人がそういったこ
とに前向きではないので、日の目を見ることがない。作品
を買いたいという方もいたが、ご本人の気持ちがそこま
でに至らないので、絵も部屋で眠ったまま。

以前は陶芸の専門家と行っていたが、場所等の問題で中
断してしまった。職員以外の専門家とかかわり自体が、
障がい者にとっても有益であるので、そうした人たちと繋
がる機会があればと思う。

障がいの利用者が1名(支援者)の為、現在十分なことが
できていないが、その活動発表の場として高齢者施設での
発表の企画チャンスがあれば、双方にいい効果があると思
えている。

利用者は18歳から76歳までと幅が広い。歌に関しても、
童謡から最新曲までと、それぞれに興味を持たれている。
絵画についても同様で、自己流の絵から本格的なアニメ
まで幅広い。なるべく多くの利用者が楽しめるような機
会を設けたいと考えている。

利用者個々に、写真の模写などを行い絵画を制作する方や、独創的な絵を描く方、ぬり絵をする方、既存のぬり絵本でも手元を見てぬれない方(それでも楽しそうに塗っている)など、それぞれが楽しく行っている。

毎月、季節の壁面飾り用の工作や塗り絵に取り組んでいるが、準備に時間がかかる。

自閉症の方が多く、特に鑑賞という普段にないスケジュールを入れると不安定になられる方々ばかり。

利用者が少なく、実施しづらい。また太鼓などもしてみましたが、音の敏感さがダメで1回でやめた。

利用者の方、大半の方にとって芸術は興味ありません。(他 2)

利用者の能力に幅があり、自主的な活動は難しい。(他 1)

事業として芸術分野の創作活動はしていないが、個人的に教室に通われ、個展なども開催し、作品を販売している利用者が在籍している。

文化芸術分野の好みは個別性が高いため、個人への情報提供にとどまることが多い。

芸術活動と呼べるか分からない

どこまでのことをしていると、していると答えて良いかわかりずらく感じた。鑑賞と観賞の違いなど。

日中活動(生活介護)では様々な活動をしているが、アートと呼べるかどうか分からないものもある為、アートの定義が難しいと感じた。

ハンドメイド作品が美術に含まれるのか分からない。

ぬり絵をしている利用者はいるが、芸術とは程遠い。

作業が手空きの時に、折り紙を行う程度。

本当にアートと言えるようなものではなく、壁面や季節の飾り付け等の製作を行っている。

利用者と一緒にしている壁面飾りが文化芸術活動に入るかどうかわかりません。

コロナの影響

コロナがまだ継続中の為、なかなか皆での行動が難しい。早く利用者のメンタル回復に繋げられる様にサポートしたい。

コロナ禍で、外出する機会がほとんどなかったため、全く活動できなかった。今後は活動を再開したい。

コロナ禍のため、ほとんどの活動が休止していた。

その他

1991年に日本初の社会貢献専門のオーケストラとして誕生した「福祉の管弦楽団 まごころ」がある。代表者・指揮者が車いすの重度障がい者、他の指揮者も車いすの障がい者で、文化芸術活動を続けておられるが、大阪府や大阪市にメンバー募集や、運営資金の相談をしても、オーケストラは教育委員会、障がい者活動は福祉局にまたがるため相談に乗ってもらえず困っている。

記入者から見ると様々なタレントを持ったアーティスト、その作品の魅力は既成の物差しからはみ出ればみ出るほどドキドキワクワク感性を刺激してくれる。そして受け手にとって名付けようのない感覚を味わせてくれる作品との出会いは魅惑としか言いようが無いのだが、誰でもがそれをそう感じるものでもないことも推測されるのだ。よって一様に発信すればいいわけでもなく、その発信のスタイルを慎重にデザインしていくことこそが重要なミッションだと感じている。

一人ひとりの個性を活かしてアーティストとして活躍されている方もおられとても素晴らしいと思う。現実を見ると施設生活で終わっていく方もおられるので、私たちがもっとその方の可能性を引き出せるように支援ができればと思っている。

利用者が興味を持たれない方が多いのでレクリエーションで鑑賞などに行くのではなく、今後の価値観などを広める為という観点で取り組んでいけるように努めたい。

独創的なものへの理解が必要。否定しないこと！をルール化できれば、もっと自由になる。

色々な芸術的な触れ合いを通じて、利用者にとって自立と自信に繋がる活動をしていきたい。

可能な限り利用者の才能を引き出し、興味を持ってもらえる支援を行いたい。

機会があれば、音楽や演劇の鑑賞に行ってみたい。

新しい活動で制作活動を取り組み、年に一回でも作品展示会をやりたい。

これからもできる範囲で取り組んでいきたい。特にネット関係での活動に取り組みたい。

今後、機会があれば、取り組んでいきたい。(他5)

今後、機会があれば、美術分野の制作活動について、取り組みたい。(他2)

今回のアンケートで、文化芸術活動の取組みのきっかけになればと思う。(他1)

未熟な施設なので、これから色々と学んでいきたい。

文化・芸術活動の意義、目的を考えたことが無かったことの気づきがあった。勉強会、ワークショップの存在も知らなかった。

カペイシャスについて

カペイシャスというものを初めて知った。展示会等のイベントがあれば観に行ってみたい。

カレンダーを作成、販売しているが、部数がのびず困っている。カペイシャスは販売の助言をいただくことはできるか？販売機会があれば応募することは可能か？

大阪府内にカペイシャスのギャラリーをつくって欲しい。府内の芸大との連携、インターンシップなどで交流し、学生との合同発表の機会があれば楽しそう。

今回アート作品の販売支援等事業カペイシャスというのがあることを知った。利用者の中で、絵画が上手な方がいるが、利用者の得意とする所を活かして、今後に繋がればいいと思った。

※文体統一の為、一部原文変更していますこと、ご了承ください。
です・ます調 → だ・である調／障害者 → 障がい者／ご利用者、利用者様 → 利用者

大阪府内の福祉施設における文化芸術活動のアンケート調査報告書

主催：大阪府

調査メンバー：

宮本典子 / capacious

田中清佳 / capacious

竹田満由子 / 近畿大学文芸学部文化デザイン学科森口ゆたかゼミ 4 回生

坪内美空 / 近畿大学文芸学部文化デザイン学科森口ゆたかゼミ 4 回生

林咲良 / 近畿大学文芸学部文化デザイン学科森口ゆたかゼミ 4 回生

協力：

一般社団法人 日本現代美術振興協会 (APCA JAPAN)

編集者：宮本典子、田中清佳

デザイン：有賀沙織

2024 年 3 月発行

capacious 事務局

540-0012 大阪府大阪市中央区谷町 5 丁目 6-7 中川ビル 3B

office N 内 / E-mail: info@capacious.jp / Web: capacious.jp



令和5年度 文化庁 障害者等による文化芸術活動推進事業

